

10 OCTOBER

01 WED
02 THU
03 FRI
04 SAT ■指定校推薦試験 前期(専門高校対象)試験日 ※実施学部/工学部・情報学部・生物生命学部 ■特別選抜試験 ※実施学部/芸術学部
05 SUN
06 MON
07 TUE
08 WED ■指定校推薦試験 前期(専門高校対象)合格発表 ■特別選抜試験 合格発表
09 THU
10 FRI
11 SAT
12 SUN
13 MON 体育の日
14 TUE ■大運動会
15 WED
16 THU
17 FRI
18 SAT
19 SUN テクノファンタジー
20 MON ■指定校推薦試験 後期(全指定校対象)願書受付開始(10月31日まで) ※実施学部/工学部・情報学部・生物生命学部 ■指定校推薦試験 願書受付開始(10月31日まで) ※実施学部/芸術学部 ■推薦試験(普通高校・専門高校)願書受付開始(10月31日まで) ※実施学部/工学部・情報学部・生物生命学部 ■専願推薦試験 願書受付開始(10月31日まで) ※実施学部/工学部 専修課程 航空整備士養成コース・薬学部 ■一般推薦試験 願書受付開始(10月31日まで) ※実施学部/工学部(専修課程 航空整備士養成コースを除く)・ 芸術学部・情報学部・生物生命学部・薬学部
21 TUE
22 WED
23 THU
24 FRI
25 SAT ■体育委員長杯 ソフトボール大会
26 SUN
27 MON
28 TUE
29 WED
30 THU
31 FRI

11 NOVEMBER

01 SAT ■市中イベント
02 SUN
03 MON 文化の日
04 TUE ■AO試験後期エントリー受付開始(11月17日まで)
05 WED
06 THU
07 FRI ■指定校推薦試験 後期(全指定校対象)試験日 ※実施学部/工学部・情報学部・生物生命学部 ■指定校推薦試験 試験日 ※実施学部/芸術学部 ■推薦試験(普通高校・専門高校)試験日 ※試験日選択型 ※実施学部/工学部・情報学部・生物生命学部 ■専願推薦試験試験日 ※実施学部/薬学部
08 SAT ■推薦試験(普通高校・専門高校)試験日 ※試験日選択型 ※実施学部/工学部・情報学部・生物生命学部 ■専願推薦試験試験日 ※実施学部/工学部 専修課程 航空整備士養成コース ■一般推薦試験試験日 ※実施学部/工学部 専修課程 パイロット養成コース・芸術学部・薬学部
09 SUN
10 MON
11 TUE
12 WED
13 THU
14 FRI ■指定校推薦試験 後期(全指定校対象)合格発表 ■指定校推薦試験 合格発表 ■推薦試験(普通高校・専門高校)合格発表 ■専願推薦試験 合格発表 ■一般推薦試験 合格発表
15 SAT
16 SUN
17 MON
18 TUE ■専願推薦および一般推薦試験 合格発表
19 WED
20 THU
21 FRI
22 SAT ■井芹祭 ■第四回オープンキャンパス
23 SUN ■井芹祭 勤労感謝の日
24 MON ■井芹祭 振替休日
25 TUE ■自己推薦試験・前期 願書受付開始(12月5日まで) ※実施学部/工学部(専修課程を除く)・情報学部・生物生命学部
26 WED
27 THU
28 FRI ■AO試験・後期 願書受付開始(12月5日まで) ※実施学部/工学部(専修課程 航空整備士養成 コースを除く)・芸術学部・情報学部・生物生命学部
29 SAT
30 SUN

12 DECEMBER

01 MON
02 TUE
03 WED
04 THU
05 FRI
06 SAT ■田原坂駅伝 ■TOEICテスト
07 SUN
08 MON
09 TUE
10 WED ■自己推薦試験・前期 試験日 ※実施学部/工学部(専修課程を 除く)・情報学部・生物生命学部
11 THU ■AO試験・後期 試験日 ※実施学部/工学部(専修課程 航空整備士養成コースを除く)・ 芸術学部・情報学部・生物生命学部
12 FRI
13 SAT
14 SUN
15 MON
16 TUE
17 WED ■自己推薦試験・前期 合格発表 ■AO試験・後期 合格発表
18 THU
19 FRI
20 SAT
21 SUN
22 MON
23 TUE 天皇誕生日
24 WED ■冬季休業開始(1月9日まで)
25 THU
26 FRI
27 SAT
28 SUN
29 MON
30 TUE
31 WED

テレビの天気予報で
崇城大学を紹介中!!

<テレビ熊本>
●毎週月曜/6:50~
(めざましテレビ番組内)
<熊本朝日放送>
●毎週金曜日/20:54~

SOJO

兵風
崇城大学 ● 広報誌
かくふう

VOL.49
Autumn
2008

UNIVERSITY INFORMATION MAGAZINE

巻頭
特集
WE LOVE KUMAMOTO
熊本を愛して・熊本に学ぶ者たち

かがくで遊ぼう!

崇城大学 ★★
テクノファンタジー
2008 開催 10月19日[日] 10:00~15:00

小学生から中・高校生、一般の方まで
誰もが科学で楽しく遊べるイベント
崇城大学テクノファンタジーには
おどろきや発見がいっぱい!

同時開催 入試相談会

お問合せは入試課まで
●Tel) 096-326-6810
●E-mail) nyushi@ofc.sojo-u.ac.jp

10時から30分おきに
JR上熊本駅と崇城大学の間を
シャトルバスが運行



崇城大学 SOJO UNIVERSITY

- 工 学 部 機械工学科/ナノサイエンス学科/エコデザイン学科
建築学科/宇宙航空システム工学科<総合課程>
<専修課程航空整備士養成コース><専修課程パイロット養成コース>
- 芸 術 学 部 美術学科/デザイン学科
- 情 報 学 部 電子情報ネットワーク学科/ソフトウェアサイエンス学科/
コンピュータシステムテクノロジー学科
- 生物生命学部 応用微生物工学科/応用生命科学科
- 薬 学 部 薬学科
- 大学院工学研究科
<博士後期課程>エネルギーエレクトロニクス専攻/機械システム工学専攻/
応用化学専攻/環境社会工学専攻/応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻/
<修士課程>電気・電子工学専攻/機械工学専攻/応用化学専攻/
建設システム開発工学専攻/宇宙航空システム工学専攻/
応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻
- 大学院芸術研究科
<博士後期課程>芸術学専攻
<修士課程>美術専攻/デザイン専攻

SOJO 検索

〒860-0082 熊本市池田4-22-1
TEL.096-326-3111(代表) FAX.096-326-3000
広報誌「かくふう」第49号 発行/2008年9月
崇城大学広報誌編集委員会・広報課(koho@ofc.sojo-u.ac.jp)



AO試験 後期	実施学部	■工学部 ^{*1} ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
	エントリー受付期間	11月04日[火]～11月17日[月]
	願書受付期間	11月28日[金]～12月05日[金]
	試験日	12月11日[木]
	合格発表	12月17日[水]

指定校推薦試験 後期/全指定校	実施学部	■工学部 ^{*1} ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
	願書受付期間	10月20日[月]～10月31日[金]
	試験日	11月07日[金]
	合格発表	11月14日[金]

推薦試験 普通 高校 専門 高校	実施学部	■工学部 ^{*1} ■情報学部 ■生物生命学部
	願書受付期間	10月20日[月]～10月31日[金]
	試験日	11月07日[金]・11月08日[土] (試験日選択型)
	合格発表	11月14日[金]

推薦試験 一般 専願	実施学部	一般 ■芸術学部 ■薬学部 専願 ■薬学部
	願書受付期間	10月20日[月]～10月31日[金]
	試験日	11月07日[金] 薬学部(専願) 11月08日[土] 芸術学部・薬学部(一般)
	合格発表	11月14日[金] ※薬学部は11月18日[火]

自己推薦試験 前期	実施学部	■工学部 ^{*1} ■情報学部 ■生物生命学部
	願書受付期間	11月25日[火]～12月05日[金]
	試験日	12月10日[水]
	合格発表	12月17日[水]

自己推薦試験 後期	実施学部	■工学部 ^{*1} ■芸術学部 ^{*2} ■情報学部 ■生物生命学部
	願書受付期間	02月09日[月]～02月23日[月]
	試験日	03月02日[月]
	合格発表	03月06日[金]

一般試験 前期 ^{*3}	実施学部	■全学部 ^{*1}
	願書受付期間	01月05日[月]～01月23日[金]
	試験日	01月30日[金]・01月31日[土] (試験日選択型)
	合格発表	02月10日[火] ※薬学部は02月13日[金]

一般試験 後期	実施学部	■全学部 ^{*1}
	願書受付期間	02月16日[月]～03月11日[水]
	試験日	03月15日[日]
	合格発表	03月20日[金]

大学入試センター試験利用試験 前期	実施学部	■全学部 ^{*1}
	願書受付期間	01月05日[月]～02月02日[月]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	02月10日[火] ※薬学部は02月13日[金]

大学入試センター試験利用試験 後期	実施学部	■全学部 ^{*1}
	願書受付期間	02月16日[月]～03月12日[木]
	試験日	本学独自の試験は課さない
	合格発表	03月20日[金]

*1 宇宙航空システム工学学科は総合課程のみ
*2 自己推薦試験の芸術学部は後期のみ
*3 一般試験前期は特待生選考を兼ねています(芸術学部を除く)

<工学部 宇宙航空システム工学 専修課程>

AO試験 後期	実施コース	パイロット養成コース
	エントリー受付期間	11月04日[火]～11月17日[月]
	願書受付期間	11月28日[金]～12月5日[金]
	試験日	12月11日[木]
	合格発表	12月17日[水]

推薦試験 一般・専願	実施コース	航空整備士養成コース(専願推薦)、パイロット養成コース(一般推薦)
	願書受付期間	10月20日[月]～10月31日[金]
	試験日	11月08日[土]
	合格発表	11月14日[金]

一般・専願試験 前期	実施コース	航空整備士養成コース(専願試験)、パイロット養成コース(一般試験)
	願書受付期間	01月05日[月]～01月23日[金]
	試験日	01月30日[金]
	合格発表	02月10日[火]

一般・専願試験 後期	実施コース	航空整備士養成コース(専願試験)、パイロット養成コース(一般試験)
	願書受付期間	02月16日[月]～03月11日[水]
	試験日	03月15日[日]
	合格発表	03月20日[金]



■表紙アートは大学院修士課程芸術研究科・美術専攻1年に在学中の森崎雄大(もりさきゆうだい)さんが学部の卒業制作として描いた「territorial call」。キャンパスの中で6種のカエルが縄張りを主張し合っている。「自分の空間に他人が入り込むと、敵意を持つほどではなくても心理的な息苦しさを感じてしまう。そんな閉塞感を表現した」。こだわったのは「鮮色のモノクロ」とでも言えるような色づかい。「赤からオレンジへの濃淡と白だけで、カエル特有の質感を出すのに苦労した。2年の時から温めていたモチーフ。描き尽くして満足」と森崎さん。「今後は学部生の頃にチャレンジできなかった大きな作品づくりやコンペ等に挑みたい」と新たな創作への意欲も増すばかり。

CONTENTS

- 02 SPECIAL ARTICLE
WE LOVE KUMAMOTO
熊本を愛して・熊本に学ぶ者たち
- 07 A LABORATORY REVIEW
生物生命学部 応用生命科学科・細胞工学講座
芸術学部 デザイン学科・宇佐美研究室
- 09 THE HISTORY OF A PROFESSOR
工学部 機械工学科・藤田昌大教授
- 10 NEWS
プレキャンパス講座で上岡教授が講演
村上教授が日本生薬学会より功労賞を受賞
難波教授がスウェーデンの大学で講義
ISO14001の認証取得に向けて
崇城大学市民ホールで除幕式
平成19年度ベストティーチング賞
日本テレビ「高校生クイズ」が本学で
- 11 TOPICS
来民うちわ展に出品
情報学部生が母校の高校生に講義
大学院生が各種学会で最先端の研究成果を発表
全九州学生バドミントン大会で二冠を達成
軟式野球部が全国大会でベスト8に
第38回「遠歩会」を開催
大学院生と芸術学部生が数々の美術展に入賞
難関資格試験に学生たちが合格
- 13 ALUMNI
ランドブレイン株式会社・佐藤直樹さん
竹田設計工業株式会社・岡昭知さん
- 14 INTERNATIONAL EXCHANGES
国際交流だより
- CLUBS' ACTIVITY
エコアクティブ
- 15 Audit 2007
平成19年度監査報告
- 17 This is my favorite book
心響の一冊
- 18 SPECIAL INFORMATION
校友会から「井芹祭」のお知らせ
SOJO COLLEGE INFORMATION
崇城大学専門学校からのお知らせ



WE LOVE KUMAMOTO

熊本を愛して・熊本に学ぶ者たち



1949年の電気・電波学校としての創設から59年、熊本工業大学を前身とする崇城大学の歩みは常に熊本や九州と共にありました。但しこの間、数多くの高校生等が生まれ育った故郷をはなれ、関西圏や首都圏などの大学に進んでいったのも事実です。もちろん、それら人々の少なからずが大学を卒業して故郷へもどり、行政や企業等の要職に就き、リーダーシップを発揮し続けてこられたのも事実でしょう。しかし、さらなる活性が希求される熊本や九州にとって今こそ必要なのは、故郷の支えになることを志し、故郷を遠くはなれることなく、九州でだからこそ可能な教育を受け、育まれた人材であるはず。そして、そのような人材育成の一翼を担うことこそが崇城大学の使命のひとつであり、私たちは今あらためて、大志を抱く高校生等が九州をはなれることを自身に強わず、「熊本で学ぼう」と考えるにふさわしい魅力づくりに努めています。これらのことをふまえ、取り組んでいるのが、この巻頭特集でレポートする工学部建築学科・西郷研究室の「新・上熊本駅の設計提案」であり、芸術学部デザイン学科・漆原研究室の「誰も見たことのない熊本を空撮する」プロジェクト*。*「熊本を愛して・熊本に学ぶ者たち」ふたつの研究室8名のゼミ生の活動をととして、本学は「WE LOVE KUMAMOTO」をメッセージしていきます。

*崇城大学ではこれらの他にも「かつての熊本城をCGで再現する」をはじめ「山鹿まちづくり工房」や「みずあかり」、「桜灯笼」や「高瀬まちづくり」等々、熊本の各地域と連携した実践学修型プロジェクトを数多く展開しています。

WE LOVE KUMAMOTO

熊本を愛して・熊本に学ぶ者たち

上熊本駅舎につらなる地域の人の想いや願いをカタチにし プレゼンテーションする日まで

●地域のみなさんに提案した新・上熊本駅舎のプロトタイプ模型。漱石の文学世界にある『はかなさ』や『おぼろげ』と様式の美を、地域のみなさんが求めた木造架構を無秩序な大きさの磨ガラスで覆うことで表現している（写真手前にあるのが上熊本駅舎）。



●市電の電停上屋として活用されている現在の熊本駅舎。



行政・関係機関へプレゼンできる機会など 普通は与えられるものではないから

やがて迎える2016年。鹿児島本線は高架化され、上熊本駅も新しくなる。昨年の夏頃から、地域のみなさん間で「どんな駅舎になるのか」という話題が、一抹の不安を漂わせつつ交わされるようになった。「新幹線が開通したら、上熊本駅を利用する人は減るだろう。そこに、どの町にもあるような無機質な高架駅舎ができれば、界隈の活力はさらに削られるだろう。皆が協力し、保存・活用している旧・駅舎さえ、意味を成さなくなるかもしれない。地域のみなさんの会話はやがて「どのような駅舎がこの地にふさわしいのか、地元から行政・関係機関へ、具体的な案を示そう」となっていく。その声は西郷研究室に届いた。そして当時のゼミ生たちが奮い立った。「行政・関係機関へ実際にプレゼンできる機会など、普通は与えられるものではない。新・上熊本駅舎の設計提案をさせてもらおう」。

それから約10カ月。年度がかわり、ゼミのメンバーもかわったが、テーマを受け継いだ5名のゼミ生たちは寝食を忘れて新・上熊本駅舎の設計案づくりに没頭してきた。その間、地域のみなさんとのワークショップを何度も重ね「この地にふさわしい」新・駅舎の在り方を模索してきた。但し彼らのなかに熊本に生まれ育った者は1名しかいなかった。しかし気づけば、全員のモチベーションは当初の「行政・関係機関へプレゼンできる!!」から、「地域のみなさんの想いや願いにこたえたい!!」へ変化していた。

プロジェクトのゴールは彼らが 地域が必要とする人材へ成長すること

「学生に与えられる課題にクライアントはいません。しかし、この新・上熊本駅舎の設計提案には地域のみなさんというクライアントがいる。だから皆の発想も自己満足に陥らず、「あの人はこのデザインのほうがうれしいだろう」といった議論もできる。設計を学ぶ者にとって、これ以上の実践学修はありません。そんな機会を与えてくださった地域のみなさんに感謝しています」と、全員の気持ちを代弁するリーダーの上原さん。

そして去る8月3日、5名のゼミ生たちは地域のみなさんへ、プロトタイプ模型による新・上熊本駅舎の設計提案を行った。賛同や感動は得られたが、厳しい意見も飛び交った。彼らは「卒業するまでに行政・関係機関へプレゼンしたい」と言う。そのために必要なのは、通常の学生課題では考えられないほど厳しく辛い、ビルド&スクラップの繰り返しだろう。しかも、彼らの案を行政・関係機関が受けとめてくれる保証はどこにもない。

また彼らに限らず、本学には学生が地域と連携して取り組むプロジェクトが多数あり、同様の厳しさを痛感している者も少なくはないだろう。しかし、そういった経験をさせてもらった学生のすべてが「ありがたい」と感謝している。「地域をあげて、人材を育成しようとする熊本に崇城大があってよかった」と言う者もいる。

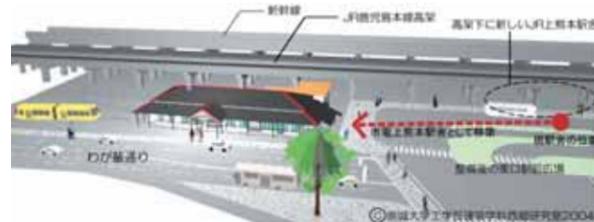
西郷研究室、5名のゼミ生たちの想いも同じだろう。彼らがいつの日か、彼らを成長させてくれた上熊本駅界隈のみなさんが必要とする人材となり、なんらかの仕事で“恩返し”してくれることを期待しよう。

上熊本駅舎の保存を願う 地域の人の運動がプロジェクトの発端

建築計画・デザインを専門とする工学部建築学科の西郷正浩講師。同研究室に所属する5名のゼミ生が取り組む「新・上熊本駅舎の設計提案」プロジェクト。その発端は2003年、九州新幹線の開通にともなう在来線の高架化工事による上熊本駅舎の解体・撤去の決定にまでさかのぼる。その駅舎は1913年（大正2年）、日本の大工が西洋様式でつくった木造の建屋であり、建築史的にも価値の高いものだった。また、同駅は1891年（明治24年）の鉄道開通にあわせて開設されており（当時名称は池田駅）、夏目漱石が五高（現・熊本大）の英語教師として赴任した際に降り立った駅として知られ、同じく五高の英語教師だった小泉八雲（Lafcadio Hearn）が描いた短編『停車場にて』は、同駅を舞台とする1893年（明治26年）の実話をベースにしている。そのような上熊本駅舎は地域のみなさんの誇りだった。そして保存を願う運動が、まちの人々からおこった。

以来、今も開催されている「草枕の駅コンサート」のお手伝いをはじめ、同じ地域にある崇城大が、この運動に関わることは必然だった。そして、この運動は保存と活用を一体的に考え提言するスタイルとなり、行政等関係機関からの参加も得ながら、シンポジウムやワークショップが繰り返し行われた。

その結果、上熊本駅舎は近接地に移築され、市電の電停上屋として活用されている。そのベースになったのは2004年に行った西郷研究室の学生たちによる提案だった。



●上熊本駅舎の移築と活用を示すために作成されたCG。



●地域のみなさんへの提案を終えて（写真後列左から二人目が西郷正浩講師）。プランニングにあたっては、模型手前の高層マンションに暮らす方からの眺望も強く意識したという。



●都市計画家協会より「上熊本駅舎を活かしたまちづくり」が表彰された際の受賞式。



●上熊本駅舎で行われた「草枕の駅コンサート」のカフェの賑わい。

chapter 1 工学部建築学科・西郷研究室5名のゼミ生による 新・上熊本駅舎の設計提案プロジェクト

VOICE 工学部建築学科 西郷研究室のゼミ生たち



大学院 修士課程
建設システム開発工学専攻2年次生
上原 早紀子さん
工学部 建築学科2007年3月卒業
沖縄県 開邦高校出身
●生まれ育った沖縄には鉄道がなく、当然ながら駅はありません。今回「駅とまち」の関係性が実践的に学べ、私の建築に対する考え方も大きく変わりました。自身への課題はたくさんありますが、学生を大切にしてくれる熊本が与えてくれたこの経験を、今後に活かしていきたいと思っています。



大学院 修士課程
建設システム開発工学専攻2年次生
岩田 正輝さん
工学部 建築学科2007年3月卒業
熊本県 文徳高校出身
●プロジェクトでは主にデザインを担当。地域のみなさんの希望をいかにして表現するのか、通常の課題では踏み込まないレベルでの勉強をさせていただきました。現在、東京にある第一線で活躍中の設計事務所に行くことが決っており、卒業後は熊本をはなれますが、いつかは故郷に戻るはず。今回の経験を糧にし、熊本に活力を与えられる建築家になることが目標です。



工学部 建築学科4年次生
深町 有紀さん
福岡県 鎮西敬愛高校出身
●下関に育ち、福岡の高校に通っていた私ですが、このプロジェクトを通じて知りあった方々をはじめ、熊本の人が熊本を愛し、その文化や歴史を誇りにされていることをとても眩しく感じました。今後は私も故郷・下関のことをさらに愛し、地域活性化に貢献できる人材になりたい。そういう目標を見つけさせてくれた熊本へ、感謝の気持ちは尽きません。



工学部 建築学科4年次生
山本 直樹くん
長崎県 島原工業高校出身
●このプロジェクトに関わるまで「単に模型をつくるのが好き」という学生でしたが、上熊本の方々の「建築模型を見つめる熱いまなざし」に使命感を感じ、モデリングのプロになろうと思ったんです。その結果、愛知県にある建築模型の製作会社への就職も決定。いつの日か、九州活性につながる建物の模型がつくりたいですね。がんばります。



工学部 建築学科4年次生
戸島 澄歌さん
福岡県 筑紫台高校出身
●山口県にある国立大にも合格していましたが、建築を地域活性の側面から学ぶことに魅かれ、崇城大への入学を決めました。以来、このプロジェクトをはじめ、思っていたとおりの学びが重ねられ、建築計画の専門家になる目標も見えてきました。今あらためて「熊本に来て本当によかった!!」と思っています。



生物生命学部 応用生命科学科
細胞工学講座
●指導教員/塩谷 捨明 教授 博士(工学)
●専門分野/生物学

学生にきく

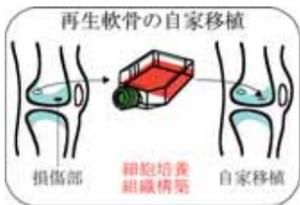


生物生命学部
応用生命科学科4年次生
園井 理恵 さん
福岡県・筑紫高校出身

SHIOYA Laboratory

動植物・微生物細胞を利用した 人の健康に資する物質の生産 技術の開発に取り組む

- この4月、崇城大学に赴任するまで、大阪大学で微生物による有用物質生産の技術開発を中心に研究してきました。
- 本学では山本進二郎准教授・博士(工学)と林修平助教・博士(工学)の先生方と共に、動植物・微生物細胞を利用した人の健康に資する物質の研究開発(ものづくり)を進めています。そのひとつは、変形性関節症の治療法としての軟骨再生医療の確立をめざしての工学的な研究です。
- 現在、我が国ではスポーツ人口の増加と高齢化社会を迎え、人口の約5%が膝関節軟骨に障害を抱えているといわれています。特に高齢者においては膝の障害のために十分な日常生活を送ることができず、いわゆる生活の質(Quality of Life:QOL)を保てなくなっています。関節軟骨再生医療はこのような障害に対して画期的な治療法となるものです。
- これに加えて、毛髪組織培養再生に関する研究も行っています。脱毛症になっている患者数は年々増加し、日本人の約20%程度に達しています。カツラや植毛などが行われていますが、理想は自毛の再生であり、毛髪を誘導する毛乳頭細胞を再生医療用に増やすための研究を行っています。
- この他、植物細胞を効果的に培養して高価な抗がん剤タキソールを多量に生産する培養操作や新しい培養プロセスの開発、砂漠や塩害に強い食糧となる植物の開発にも取り組んでいます。



塩谷教授 この1年の主な活動

- バイオテクノロジーへの計算機応用に関する国際シンポジウム(CAB10)にて講演(6月・メキシコ)、韓国生物工学会(KSBB)にて招待講演(10月・大邱)、日タイ共同セミナーに参加(1月・バンコク)、その他国内学会として、化学工学会(3月・静岡)、農芸化学会(3月・名古屋)に参加発表しました。講演内容は主に「微生物共生系とその利用」や「システムバイオロジーに関する研究」などでした。
- この8月には会長として、日本生物工学会年次大会(会員3000名)を仙台で開催しました。
- 10月にはバイオテクノロジーに関する国際会議(ISB2008・大連)での招待講演を予定しています。
- 学術原著論文としては、この1年で「AMB」や「JBB」、「J Biotechnol.」など18報を発表しています。

現在の研究テーマは?

- 軟骨の組織再生に関する研究を行っています。現在、高齢化社会の進行やスポーツ人口の増加により、軟骨に障害を持つ人が増加しています。軟骨組織は大きく損傷すると自己修復が難しく、治療が必要になります。治療法として、人工関節への置換などがありますが、耐久性や使用期限などの問題のため、自分の軟骨細胞を生体外で培養・組織構築して移植する再生医療という新しい治療法が考えられています。しかし、生体外で培養すると、軟骨細胞の性質が変化してしまいます。そこで、私たちは、軟骨細胞を生体内に近い状態で培養することによって、性質を維持しながら、組織再生することを目標として日々研究を行っています。
- このテーマを選んだのは「ものづくりだす研究」に関わりたかったのがきっかけ。軟骨だけではなく、動物細胞は培養が簡単ではなく、また細胞と組織体のときは、それぞれ性質が異なるという、とても興味深い特徴があります。この研究が進展することで、再生医療の実現に少しでも近づければと考えています。

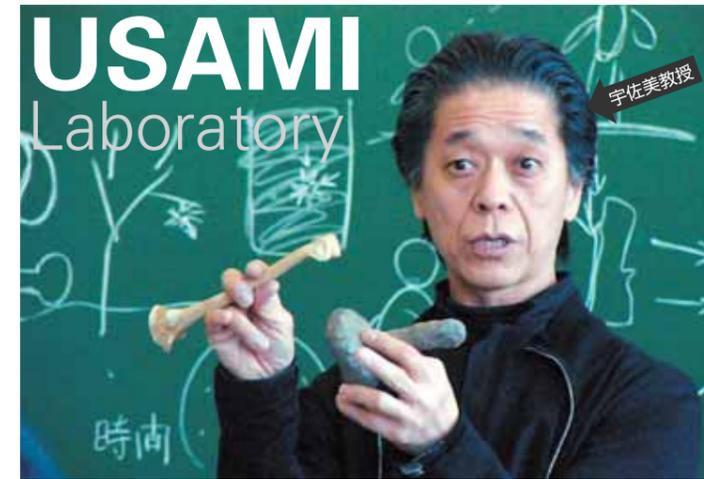
研究室の雰囲気は?

●個性的な人が多く、明るい雰囲気の研究室です。研究の合間の気分転換に筋トレをしたり、かき氷をつくったりすることが行っています(笑)。

塩谷教授はどんな先生?

- いつもは柔和で面白く、気さくな先生ですが、研究に対しては厳しいです。研究の内容を話し合う時、優しい口調なのですが、本質を追究されるので、私たちは研究に対して気を抜くことはできません。
- 塩谷先生は現在、動物細胞だけではなく、植物細胞や微生物、酵素など、幅広く研究をされています。どれもが興味深い研究内容で、研究に対して真剣に向き合う先生から、その考え方や姿勢などをしっかりと学ばせてもらおうと考えています。

自然界の造形力や楽器の造形の観察と考察の他 学生が“内造形力”を伸ばすための訓練を 授業「体感表現実習」において実践



●動物の骨に「神秘的な“かたち”がデザインされている」と説く宇佐美教授

宇佐美教授 この1年の主な活動

- 昨年から自分自身の「内造形力」を高める意味もあり、「Garden」というタイトルで即興的なオイリュトミーの舞台(熊本・横浜・ドイツ)をしています。6月のデザイン学科コース展(熊本・SOJOギャラリー)での公演で、すでに7回目を迎えました。秋には福岡のギャラリー「IAF shop」での公演も予定しています。
- 学生とのゼミに使うため、ドイツ語の文献や芸術家のエッセイなどを翻訳しています。全盲の詩人の色彩感覚についてのエッセイの翻訳が完成、今は新しいデザインを追求したドイツの「パウハウス」でも活躍した画家・カンディンスキーの「内的必然性」に着手しています。
- また、来年秋の初演(東京文化会館小ホール)に向けて、ピアニストの佐伯周子氏より委嘱されたピアノ曲「あをい 空に沈む」の作曲にも取り組んでいます。



●オイリュトミーの舞台より

- 当研究室では次の3つのテーマに取り組んでいます。
- 一つは「鉱物・植物・動物などの自然界の造形力の研究」です。ここでは何より、まずはじっくりと五感を使って観察します。そこには、普通は気がつかないような神秘的とまで言える「かたち」がデザインされており、例えば動物の骨には生命そのものの時間が造形されているなど、いつも驚いてしまいます。
- 二つ目は「音楽という心に直接語りかけてくる芸術」に関して。演奏に古代から使われてきた楽器の造形を覗いていくと、世界中の様々な民族や時代の「文化の草丈・文様」がとてよく見えてきます。例えば、邦楽器の琵琶はもともと中近東のウードが起源で、そこから反対側のヨーロッパに伝わりギターになったこととか、音を作り出す構造はハーモニカ、パイプオルガン、それに笙(日本も含めて東南アジアに広く分布)はほぼ同じ……等々の観察と考察を続けています。
- 三つ目は、子どもの絵画や造形の能力を伸ばすための「子ども自身のイメージの身体的記憶力(僕はこれを“内造形力”と造語して使っている)の研究と実践」。この「内造形力」はダンスの世界(僕の専門領域のオイリュトミーも含めて)ではとても高いレベルを要求されます。その訓練方法を授業「体感表現実習」として実施しています。将来、デザイナーとしての活躍をめざす学生諸君にとって、とても有効な取り組みだと考えています。



●授業「体感表現実習」の光景

学生にきく

現在の研究テーマは?

- 私の研究テーマのタイトルは「ごみの胎内(なか)」です。このテーマを設定したのは「身近なゴミを通常とはちがった観点から観てもらおう、エコロジー問題を直接的ではなく間接的に考えてもらおう」と思ったのがきっかけ。
- そんな私が所属する宇佐美研究室の大テーマは「エコとエゴ」。それぞれが個人で噛み砕き、自分の中のエコロジーとエゴイズムについての研究をしています。私はこのテーマに出会うまで、エコを“なんとなく”程度にしか考えることができませんでした。今ではこれほどと異なる考えや想いが溢れ出てくるようになりました。「エコとエゴ」って、とても深いテーマだと思います。

研究室の雰囲気は?

●とってもアットフォームで和やかです。みんなで食事をしたり、先生宅で呑み会などしたり、本当に仲の良い研究室です。ちなみに、宇佐美研究室の通称は「うさ研」。イメージキャラがウサギで、研究室のテーマカラーはピンク色。ことあるごと、みんなで使っています。

宇佐美教授はどんな先生?

●とても“柔らかい”先生です。身体はもちろんですが(笑)頭も柔らかく、私たちの突拍子もない考えも受け入れてくださるし、先生からもステキなアイデアがたくさん提供されます。週1回のゼミ会はとても楽しく、いろんな話で盛り上がり。そんな宇佐美研究室のゼミ室(アートクリエイションスタジオ)は芸術学部・美術棟3階の手前にあります。芸術学部生に限らず、いろんな学部・学科の学生の来訪も大歓迎!! お茶やお菓子の準備をしてお待ちしています!!



芸術学部
デザイン学科4年次生
伊藤 華梨 さん
熊本県・熊本信愛女学院高校出身

THE HISTORY OF A PROFESSOR

教授に歴史あり……シリーズ⑦



工学部 機械工学科
藤田 昌大 教授 (工学博士)

研究仲間にも恵まれ 自分の能力の倍以上の仕事ができ 国際的にも認められるようになった

卒業後 衝撃関連の研究に 活路を見いだす

●川崎航空機工業株式会社に入社し、自動車工場特殊車設計係に配属されてゴミ収集車や構内運搬車、小型農機等の設計を担当しました。興味深い仕事でしたが、体調が芳しくなく2年で辞め、母校(熊本大学)の助手になりました。

●上司は我が国の衝撃材料加工の先駆者として著名な清田堅吉教授。1971年には衝撃エネルギー実験所が設立されました。その時から衝撃関連の研究に取り組むことになりましたが失敗も多く、成果が上がるどころまでは行き着きませんでした。

●1986年には博士課程が設置され、研究活動を一段と活発に行わねばならなくなり、尻に火が付きまして。一生懸命取り組んでいると、それまでの失敗の経験が活きてきて、成果に結びつくようになりました。千葉教授や伊東助教授、外本助教など、研究仲間にも恵まれたことも大きな力になりました。他人は自分の知らないことをよく知っており、自分の能力の倍以上の仕事ができるのです。「爆発圧着法でセラミックスに金属箔をくっつける技術」や「ダイヤモンド粉末を予め高温に熱しておいて高い衝撃圧で押し固めてダイヤモンドブロックを作る技術」などの開発に成功し、国際的にも認められるようになりました。



熊本大学時代 (前列右から4番目)

衝撃波現象に関する国際セミナー
(本学衝撃先端技術研究センター
主催・2004年3月18日)
(前列右から4番目)



学術交流協定を結んでいた中国科学院力学研究所で講演
(右から3番目)

現在 学生と一緒に苦しみながら 新しい技術の開発をめざす

●1999年、本学に移りました。本学にも衝撃先端技術研究センターを設置して貰い、衝撃関連の研究を継続できることになりました。現在の主なテーマは「衝撃超高压装置の開発とそれを利用した新物質の合成」と「爆発成形法を応用した美術品制作技術の開発」。その他にも様々な新しい爆発加工技術の開発に取り組んでいます。

●学生諸君と共に悩み、苦しみながら成果を積み上げていくのが何より大事だと思っています。学生諸君が技術開発という同じ目標に向かって互いにつぶつかり合ったり、協力し合ったりしながら、「仕事をやり遂げる達成感を身をもって体験して欲しい」というのが私の願いです。

学生へ 勉学や仕事の仲間をつくり 思う存分に活躍してください

●何事にも正面から一生懸命取り組むことが肝心です。当初は失敗が多く、成果に結びつかないものですが、真剣に取り組んでいると、失敗の経験が自らの力になって蓄積されます。また、仲間をつくることも大切です。他人は自分の知らないことをよく知っており、力が倍加されます。そのようにして、大きな力が育った後に成功がやってきます。失敗を恐れず、正面から取り組み、思う存分に活躍してください。

高校時代 甲子園に行き損なう

●高校2年の時「1日だけ」ながらマネージャーとして硬式野球部に在籍したことがあります。その日、夜遅く帰ると父親から「お前にはマネージャーなどできん。辞めなさい」と言われてしまいました。

●なお、その年(1953年)の6月28日、熊本市は大洪水に見舞われました。そのことによる奮発あてか、母校(熊本高校)は予選大会で優勝、甲子園出場を果たしました。父親を説得する強さがあれば、私も甲子園に行けたかもしれません。今になって思えば少し残念です。

大学時代 仲間と遊びつつ学び 囲碁や将棋が強くなる

●父の薦めもあって熊本大学・機械工学科に入学しました。当初、学業にはあまりなじみず、特に設計製図が苦手でした。しかし設計製図はクラスの大部分が製図室に泊まり込み、互いに教え合ったりしていたので、どうにか落ちこぼれずにすみませぬ(笑)。どのような図面を作成していたのか、よくは憶えていませんが、その間に囲碁のトーナメントをやったり、将棋の対抗戦をやったことは憶えています(笑)。ちなみにその効あてか、2005年(68歳の時)に日本棋院と日本将棋連盟から囲碁五段と将棋五段の免状を貰いました。

SOJO NEWS

詳しくはホームページに掲載中 <http://www.sojo-u.ac.jp/>

熊日本社で開催されたプレキャンパス講座 「大学ってどぎゃん」で上岡教授が講演

県内の高校生に大学の研究や学生生活を知ってもらうことを目的とするプレキャンパス講座「大学ってどぎゃん」が7月20日に熊本日日新聞本社で行われ、約40名の高校生が参加した(主催は熊本公德会・熊日が共催)。講師には県内大学の理系と文系から各1名の先生が招かれ、理系は生物生命学部・応用生命科学科の上岡龍一教授。「研究テーマは身近なところ」と題して、大豆や卵の成分などからつくったガン抑制に有効な人工細胞膜の研究などを紹介した。「身近にある素材に良いヒントがある」とする上岡教授の話に高校生が熱心に聞き入り、「がん研究を始めたきっかけ」についての質問も出された。



薬学部の村上教授が 日本生薬学会より功労賞を受賞

薬学部・薬学科の村上光太郎教授が日本生薬学会より功労賞を受賞した。村上教授の研究課題は「薬草園の整備と民間薬調査ならびに民間薬と漢方薬の社会的啓蒙」。民間薬調査や植物分布調査はネパールやボナベ島、ブラジル、中国雲南省などの海外から、徳島県各地や熊本県五木村などにおよんでおり、学会でも多数発表されている。



工学部・宇宙航空システム工学科の 難波教授がスウェーデンの大学で講義

工学部・宇宙航空システム工学科の難波昌伸教授が、ストックホルムの王立工科大学(Royal Institute of Technology)に招待され、6月16日からの約3週間、大学院生向けにターボ機械の非定常空気力学に関するセミナー形式の講義を行った。また、難波教授が開発した「数理解析手法による翼列の非定常空力計算プログラム」を、ネットを通じて国際的に利用したいという提案も受け、その準備作業も行った。なお同大学はIT技術を活発に利用しており、世界中からネットを通じて、リアルタイムに講義に出席できるシステムを運用している。



ISO14001の認証取得に向けて EMS幹事会を設立



池田キャンパスのISO14001の認証取得に向けて7月3日、環境マネジメントシステム(略称EMS)幹事会を設立した。幹事会は工学部、情報学部、生物生命学部の各学科および事務局の各課から選出された幹事で構成されており、7月26日と27日に行われたISOに関する講習会を受講、全員が内部環境監査員の資格を取得した。今後は各学科・各課で環境側面の抽出を行い、それに基づく環境目標を設定し、運用を開始することになる。なお、エコデザイン学科ではEMSワーキンググループを設置し、ISOの認証取得について全面的にサポートする。

崇城大学市民ホールで除幕式



「熊本市の文化事業に貢献していきたい」との考えから、本学は熊本市市民会館のネーミングライツ(施設命名権)事業の命名権契約を締結。この7月1日より「崇城大学市民ホール」の名称使用を開始した。これに伴い、使用開始日の7月1日に同ホール前で幸山政史熊本市長および中山峰男本学学長などによる表示看板の除幕式が行われた。

平成19年度「ベストティーチング賞」

工学部、情報学部、生物生命学部の3学部で毎年実施されている「ベストティーチング賞」。その平成19年度授与式が6月30日、本館6階学術講演会場で行われた。受賞者は次のとおり。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| <前期> | <後期> |
| 工学部 | 工学部 |
| ●ナノサイエンス学科/八田泰三教授 | ●建築学科/栗原和夫教授 |
| ●建築学科/西郷正浩講師 | ●総合教育/井芹浩文教授 |
| ●総合教育/山内洋一教授 | ●ナノサイエンス学科/田丸俊一助教 |
| ●情報学部 | |
| ●ソフトウェアサイエンス学科/中川豊教授 | |

日本テレビ「高校生クイズ」が本学で開催



日本テレビ主催の第28回「全国高校クイズ選手権九州大会」が7月23日、メインパーソナリティであるお笑いコンビのオリエンタルラジオを迎え、本学ソフトボール球場で開催された。参加者は熊本・宮崎・鹿児島の高校生771名。炎天下にも負けない熱い戦いが繰り広げられた。なお、この九州大会の様子は8月30日の13時30分より、全国大会は9月5日の19時より日本テレビ系列で放送された。

熊本の学生が描く 「来民うちわデザイン展」に出品

6月25日から8月10日まで、熊本伝統工芸館2階常設特別展示室で開催された「来民うちわデザイン展」に芸術学部・デザイン学科と美術学科の3年生を中心とした有志20名が出品した。この作品展は400年の歴史を持つ来民うちわに熊本の学生がデザインを描くというもの。本学学生の作品7点は秀作としてガラスケース展示となった。

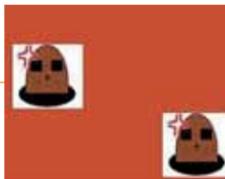


<来民うちわデザイン展>
 グランプリ
 ●デザイン学科3年次生/黒木 真由美さん(宮崎県・延岡西高校出身)
 優秀賞
 ●デザイン学科3年次生/藤本 瞳さん(熊本県・南関高校出身)
 四代目賞
 ●デザイン学科3年次生/山下 久美さん(長崎県・創成館高校出身)



情報学部の学生が母校の高校生に講義

7月2日、情報学部4年次生の井口廉くん(熊本県・阿蘇高校出身)が、母校である阿蘇高校の生徒18名に講義を行った。内容は井口くんが大学に入ってから学んだことや授業・実験の楽しさなど。自身が制作したゲームソフト「もぐらたたきゲーム」のデモと解説も行った。



八重倉里史くんが全九州学生バドミントン大会で 「二冠」を達成して全国大会出場権を獲得



6月13日から19日、第57回全九州学生バドミントン大会が佐賀県立総合体育館にて開催された。シングルの部では情報学部4年次生の八重倉里史くんが優勝、ダブルスの部では八重倉くんと同じ情報学部の3年次生・曾山秀策くん(両名ともに鹿児島県・鹿児島高校出身)による“やえそ”ペアが優勝を果たし、全国大会への出場権を獲得した。八重倉くんはシングルとダブルスの二冠達成であり、これは本学開学以来、初の快挙である。

機械工学専攻の大学院生が 各種学会で最先端の研究成果を発表

5月23日から25日に開催された「日本材料学会第57期学術講演会」において、大学院修士課程・機械工学専攻2年次生の虎口浩之さん(福岡県・三池工業高校出身)と大学院博士課程・機械システム工学専攻3年次生の西村禎人さん(長崎県・大村高校出身)が、それぞれ「純マグネシウムの圧縮変形に及ぼす結晶粒度とひずみ速度の影響」、「純マグネシウムとそのAZ系合金の疲労強度に及ぼす結晶粒径の影響」と題する発表を行った。どちらも次世代の構造材料として着目されているマグネシウムを対象とした研究発表であり、興味深い内容であった。また、8月3日から7日の日程で開催された「日本機械学会2008年度年次大会」では、大学院修士課程・機械工学専攻1年次生の武田崇弘さん(熊本県・文徳高校出身)が「反射水中衝撃波を有効に活用した爆発圧着法(底面部での反射を利用する方法)」と題する発表を行った。爆発圧着法はきわめてユニークな研究であり、活発な議論が行われた。いずれの発表も大学院生が精力的な実験を行った結果であり、今後の院生の活躍に期待したい。

軟式野球部が全国大会でベスト8に

6月8日に行われた九州地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦決勝トーナメントの決勝戦において本学軟式野球部(部長は工学部ナノサイエンス学科・友重准教授)は鹿児島大学を相手に6対1で勝利し、九州地区連盟の代表として第31回全日本大学軟式野球選手権大会(富山県・8月4日から8日)へ出場した。同大会では好守備と多彩な攻撃で準々決勝まで進み、全国ベスト8の成績を残した。この経験を活かして、今後のさらなる飛躍が期待される。



第38回「遠歩会」を開催

第38回「遠歩会」が5月17日から翌18日にかけて開催された。参加者204名のうち、スタートの阿蘇から本学池田キャンパスまでの約50kmを完歩したのは155名であり、これは近年稀にみる好成績。なお、総合教育(健康・スポーツ)で行った参加者対象・意識調査の結果は本学ホームページで紹介中。



難関資格試験に学生たちが合格

難関とされる「危険物取扱者(甲種)」と「環境計量士」の資格試験に7名の学部生が合格を果たした。これにより、資格を得た学生は右のとおり。

- <危険物取扱者(甲種)>
 工学部・ナノサイエンス学科3年次生
 ●高木 美彩子さん(熊本県・鹿本高校出身)
 ●長野 彩加さん(大分県・臼杵高校出身)
 ●平原 崇くん(鹿児島県・垂水高校出身)
 ●吉海 順一朗くん(熊本県・水俣高校出身)
 生物生命学部・応用生命科学科3年次生
 ●松永 奈々美さん(熊本県・第一高校出身)
 ●日吉 章くん(熊本県・湧心館高校出身)
- <環境計量士>
 生物生命学部・応用微生物工学科4年次生
 ●松島 享生くん(熊本県・熊本工業高校出身)

大学院生と芸術学部生が数々の美術展に入賞

大学院博士後期課程芸術研究科・彫刻コース2年次生の田原迫さんが出身の鹿児島県美展において、最優秀作品に贈られる県美展賞を受賞。同修士課程2年次生の森田さんも出身の富山県展において、全作品の中で最も優秀な作品に贈られる大賞を昨年に続き2年連続で受賞した。この他、第25回「熊日女性絵画展」においては6名の学生が受賞しており、芸術学部の教育の質の高さを広くアピールすることにつながった。受賞した大学院生・学部生は次のとおり。

- <第55回記念 県美展(鹿児島県)>
 県美展賞
 ●大学院 博士後期課程 芸術学専攻2年次生/田原迫 華さん(鹿児島県・鹿児島大学出身)
- <第63回 県展(富山県)>
 彫刻大賞
 ●大学院 修士課程 美術専攻2年次生/森田 一成さん(富山県・井波高校出身)
- <第25回 熊日女性絵画展>
 ※以下全員が芸術学部・美術学科生
 奨励賞一席
 ●日本画コース2年次生/河喜多 祐佳さん(熊本県・ルーテル学院高校出身)
 奨励賞二席
 ●洋画コース3年次生/花立 和佳さん(熊本県・ルーテル学院高校出身)
 奨励賞七席
 ●洋画コース3年次生/武田 理香さん(熊本県・熊本農業高校出身)
 奨励賞九席
 ●洋画コース3年次生/増岡 通子さん(高等学校卒業程度認定試験合格者) 入選
 ●洋画コース2年次生/佐藤 博美さん(熊本県・第二高校出身)
 ●洋画コース1年次生/藤里 真由さん(熊本県・第二高校出身)



●鹿児島県・県美展賞を受賞した田原迫さんの作品「朧月夜に」



●富山県・県展彫刻大賞を受賞した森田さんの作品「歩」

Photo Scrap*

5.31
学長杯
ソフトボール大会

6.6
海開き

6.7
後援会総会

6.12~13
美井祭
(発表部門)

6.21~22
美井祭
(展示部門)

6.26
進学説明会

7.24~8.8
後期試験

7.31
教養講座
修了式

8.2,24
オープン
キャンパス



卒業生直撃 interview

都市計画コンサルタントとして 豊かな国土の実現をサポート

ランドブレイン株式会社

●佐藤 直樹さん

2002年 工学部・建築学科卒業 / 2004年 崇城大学大学院 修士課程・建設システム開発工学専攻修了 / 2005年 京都大学大学院 建築学専攻 前田忠直研究室 研究生修了(愛媛県・川之江高校出身)

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●大学院修士課程を修了後にランドブレイン株式会社に入社し、都市計画コンサルタントとして、トータルサポートシステムによる地域雇用の創造や、多様な主体の導入による限界集落地域の再生、中間支援組織の設立支援による地方の活性化など、豊かな国土の実現に向けた施策立案、事業運営等のお手伝いをしています。

学生時代の思い出を教えてください

●学部では建築学科・内丸講師から指導を受け、崇城大学にも近い本妙寺周辺地域の活性化をめざした本妙寺「桜灯籠」を企画・実施しました。様々な研究室の友人にも助けてもらいましたが、地域住民の方々や学友みんなと達成感を共有できたことが今でも良い思い出となっています。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

●建築学科では技術に限らず、地域や実社会との関わり、建築の必要性など、幅広い知識を学ぶことができました。また、それらの知識を机上だけではなく、社会の一員として学外で実践する場を与えてもらい、社会的活動を進める上で人間関係やマナーの大切さも合わせて学びました。この体験の数々が、現在の業務の大切な基礎になっています。



※熊本地域資源活用のために 東京の企業代表を案内されている佐藤さん(左)

崇城大に学ぶ後輩たちへ アドバイスやメッセージをお願いします

●私が羨ましく感じるほど、豊かな学びの場にいることを自覚してください。同時に、それが「義務」ではないことも常に意識してください。皆さんは既に社会の一員であり、「学生」という立場を活かして、もっと社会に提案し、もっと動ける可能性があります。卒業までに“プロ以上のプロ”になってください。そのために“今しかできないこと”を最大限、楽しむようにしてください。

将来の夢を教えてください

●今、社会問題となっている環境や教育をはじめ、福祉や産業構造、雇用、文化、健康、医療など、様々な問題がクローズアップされています。しかしイギリスのLSP制度を見るまでもなく、地域での具体的なプレーヤー(人を繋ぎ・経済的循環を創る人)が重要となっています。夢はないですが、こういう仕事をしたいと思っています。

卒業生直撃 interview

エンジニアからリクルーターへ 異例の異動を自ら志願して

竹田設計工業株式会社

●岡 昭知さん

1997年 工学部・構造工学科 航空工学コース(現・宇宙航空システム工学科) 卒業(福岡県・柳川高校出身)



現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●竹田設計工業に入社し、長年携っていたのは戦闘機の開発設計です。担当機種及び他機種も含めて故障解析を行い、各部門の担当者や現場の担当者や調整しつつ、整備項目と整備間隔を決定、防衛省にプレゼンし、了解を得るといった仕事をしていました。
●今は私自身の希望で、採用担当をしています。エンジニアからリクルーターへの異動は異例。無茶な希望を聞き入れてくれた会社に感謝しています。現在、元エンジニアにしか伝えられない当社の良さを伝えることに懸命です。また、元エンジニアの目から見た「本物のエンジニアとは?」ということをテーマに、一人でも多くの学生さんに「エンジニア」を解ってもらえるよう、全国の大学を飛び回っています(汗)。崇城大も頻りに訪ねていますので「本物のエンジニア」を知りたい方はぜひ、当社のセミナーに参加してください(笑)。

学生時代の思い出を教えてください

●学生時代の思い出は、なんといっても「鳥人間コンテスト」です。4年間、「鳥人間コンテストには誰にも負けない」と言えるほど全力を注ぎました。その結果、4年次には当時の九州地区記録(滑空部門219m)を出しました。目標とする300mの滑空と優勝は果たせませんでしたが、6位奨励賞(滑空部門では全国の大学1位)の好成績です。仲間と共に打ち込んだこの経験は生涯、忘れることができない私の宝物です。

大学時代に学んだ事が 今どのように活かされていますか

●航空の学科は全国に多数ありますが、崇城大でしかできない「実機にふれたり」、「自分で操縦桿を持ってフライトしたり」といった“体で覚える”学びが、設計業務を遂行する際、大きなアドバンテージになりました。
●現在の採用の仕事については、お世話(ご迷惑をかけた?)になった先生方とのふれあいにより培ったコミュニケーション能力が役立っていると思いたいですね(笑)。

崇城大に学ぶ後輩たちへアドバイスやメッセージをお願いします

●まずは“夢”を見つけてください。そして、夢が見つかったら、その夢に向かって努力してください。そうすれば、いつの間にか夢は目標に変わります。目標にさえなれば、その達成は夢でなくなります。それが「夢を現実にする」ということだと思います。

将来の夢を教えてください

●2歳になる超!!超!! 可愛い娘がいます(笑)。夢というか願望なのですが、その娘と一緒に航空祭へ行き、私が設計に携わった戦闘機を見せて「父ちゃんが設計した飛行機だよ」と自慢し、「父ちゃんすご〜い!!!」と娘に認めてもらうことです。ということはさておき(笑)、当社の名前は入っていないですが、地上から宇宙まで、最先端技術を駆使した製品には当社の社員が設計に携わったものが数多くあります。いつの日か、全社員の技術力を結集し、竹田設計工業ブランドの製品を世に出したいですね。

INTERNATIONAL EXCHANGES

国際交流だより

インターナショナル・サマーサイエンススクール・ハイデルベルグに 薬学部・薬学科2年の大野さんと小早川さんが参加

熊本市の姉妹都市であるドイツ・ハイデルベルグ市を中心となって行う ISH(International Summer Science School Heidelberg)に、今年も本学から2名の薬学部生が派遣された。選ばれたのは2年の大野久美子さん(熊本県・熊本信愛女学院高校出身)と小早川菜美子さん(熊本県・真和高校出身)。その感想を二人は次のように述べる。

※ISHとは自然科学に関する能力や技術の錬磨向上を目的に、各友好都市から派遣された学生たちが毎年夏4週間にわたり、ハイデルベルグ市の様々な研究施設において、実習や実験に取り組むプログラム。



●大野久美子さん(写真前列左から3人目) / この「ISH」では他国の人と4週間一緒に生活し、各研究所での研修をします。そんな毎日では初めてのことばかり。英語で説明を受け、実験することは大変でしたが、疑問点は自分で調べながら理解し、充実した日々を過ごすことができました。すべては多くの方々の協力のおかげです。ありがとうございました。

●小早川菜美子さん(写真前列左から4人目) / 外国で1か月間生活し、一人で研究室に配属されて学ぶことに、大きな不安はありましたが、それを忘れてしまうほど毎日が楽しく新鮮で、外国の友人たちと言葉や文化を超えて、親しく共に過ごせたことに大きな喜びを感じています。ここで学び、感じたことを忘れることなく、夢の実現に向けて日々、努力していきたいと思えます。

CLUBS' ACTIVITY

エココン優勝を目標に しっかりとしたスタンスで活動

●私たち「eco active」は昨年4月にできました。「楽しく・ムリなく・仲良く環境活動」をテーマに日々活動しています。主な活動内容は「竹炭作り」や「世界の環境を知ろう」、および「生態系調査」と「エコ新聞作り」です。「世界の環境を知ろう」では「食べ残したご飯で何人の人が助かるのか」や「温暖化の影響は」などを調べて討論しています。「生態系調査」では地元の里山の生物や植物を調べたり、自然にふれあう活動をしています。「エコ新聞作り」ではテレビや新聞で報じられている環境活動が実際はどうか、自分たちで調べながら実践し、その体験をもとに賛否を論じています。また、昨年東京で開催されたエココン(全国大学生環境活動コンテスト)では初参加にもかかわらず入賞しました。今年で2年目ですが、しっかりとしたスタンスで大きな目標をもち、日々精進していきたいと思っています。目標は「エココン優勝!!」です。



eco active

eco active 部長 / 工学部・エコデザイン学科3年次生 吉田 和真くん 福岡県・玄洋高校出身

INFORMATION

岳風で記事してほしいことや発信したい情報などをもつ人はいませんか!! 大学案内のパンフレットをはじめとする大学PRのモデルとなる学生も募集しています。詳しくは広報課までメールどうぞ。

koho@ofc.sojo-u.ac.jp

高校生などの読者で「崇城大学のココが知りたい」という方も広報課まで気軽にメールしてください

平成19年度監査報告

資金収支計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日) (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	5,018,650	人件費支出	3,557,575
手数料収入	69,860	教育研究経費支出	1,108,972
寄付金収入	28,087	管理経費支出	500,600
補助金収入	630,300	借入金等利息支出	32,739
資産運用収入	210,670	借入金等返済支出	500,550
資産売却収入	503,250	施設関係支出	75,974
事業収入	111,952	設備関係支出	100,650
雑収入	197,824	資産運用支出	1,000
借入金等収入	0	その他の支出	174,565
前受金収入	885,187	資金支出調整勘定	△ 89,547
その他の収入	258,876	次年度繰越支払金	5,016,001
資金収入調整勘定	△ 1,081,782	合計	10,979,079
前年度繰越支払資金	4,146,205		
合計	10,979,079		

消費収支計算書(平成19年4月1日～平成20年3月31日) (単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金	5,018,650	人件費	3,380,873
手数料	69,861	教育研究経費	2,011,814
寄付金	63,347	管理経費	675,742
補助金	630,299	借入金等利息	32,739
資産運用収入	210,670	資産処分差額	9,465
資産売却差額	3,685	徴収不能額	2,543
事業収入	111,953	合計	6,113,176
雑収入	197,824		
帰属収入合計	6,306,289		
基本金組入額	△ 411,792		
合計	5,894,497		

貸借対照表(平成20年3月31日) (単位:千円)

資産の部			負債の部		
科目		決算額	科目		決算額
固定資産	有形固定資産	28,572,289	負債	固定負債	2,555,034
	その他	4,153,980		流動負債	1,546,044
	計	32,726,268		計	4,101,078
流動資産	現金預金	5,016,001	基本金	第1号基本金	43,113,743
	その他	241,899		第4号基本金	435,000
	計	5,257,899		計	43,548,743
合計		37,984,167	消費収支差額	消費支出超過額	△ 9,665,654
			合計		37,984,167

財産目録

I 資産総額	37,984,167,164円
内 基本財産	26,555,421,149円
運用財産	11,428,746,015円
収益事業用財産	0円
II 負債総額	4,101,078,250円
III 正味財産	33,883,088,914円

平成20年度の在籍学生数(5月1日現在)

工学部	1,392名	大学院工学研究科	142名
芸術学部	251名	大学院芸術研究科	27名
情報学部	633名	計	169名
生物生命学部	686名		
薬学部	557名		
計	3,519名		

平成19年度 事業報告

施設設備関係

- 工学部・宇宙航空システム工学科・航空整備士コース用の学科棟および宿舎を整備
- 本学隣接地の熊本市池田3丁目1428他7筆を購入
- 熊本市京町2丁目に教職員住宅(マンション)を購入

許認可申請関係

- 既存の工学部・応用化学科を改組しナノサイエンス学科を開設
- 既存の工学部環境建設工学科を改組しエコデザイン学科を開設
- 工学部・宇宙航空システム工学科に航空整備士養成コースを開設
- 文部科学省私立大学等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備等整備費)採択事業に次の3件を申請
 - 1) 難発茸性マツタケ等の菌糸体培養と子実体形成解析システム(特別設備)
 - 2) ルミネッセンス蛍光検出システム(特別設備)
 - 3) 仏教美術史に関する基礎文献資料(特定図書)を申請

地域交流関係

- 宇城市と連携協力に関する協定を締結(平成19年5月16日)
- 益城町と連携協力に関する協定を締結(平成19年8月1日)

国際交流(協定)関係

- ポーランド・ルブリン工科大学と交流協定を締結(平成19年12月5日)

教育関係

- 高大連携教育(芸術分野)提携校が1校増え全体で4校となる

大学院生になりたての頃、新しい環境に馴染めないことがありました。それで「本を読みなさい」という助言を素直に受けとめ、何気なく好きな飛行機の本を探していたら、この『大空のサムライ かえらざる零戦隊～THE STORY OF JAPAN'S GREATEST LIVING ZERO FIGHTER』に出会いました。本の帯には「全英、全米、全仏でベストセラー」と書かれていたのですが、日本人であるのにこんな本は知りませんでした。飛行機は好きですが、いわゆる大戦ものは避けていました。しかしこんな風にかかれると「それじゃ読んでみようか」という気持ちになりました。初めのうちは興味本位で目を通していましたが、次第に引き込まれ、結局一気に読んでしまいました。まず「エース」といわれる零戦の操縦者が生きていて、このような本を書いていることに驚きました。著者は自身がスピードに異常な魅力を感じていることに気づき、飛行機乗りをめざしますが、最初は



坂井三郎 著
大空のサムライ
かえらざる零戦隊
THE STORY OF JAPAN'S
GREATEST LIVING
ZERO FIGHTER

写真の一冊は
光人社版単行本

砲手になりました。そこから操縦練習生になるまでのところ興味深く読んだ箇所です。自分の進路を振り返って見ても、なかなか思うようにはならないものですが、当然のことですが、それは「やるだけのことをやっていないからだ」と思い知らされる個所でもありました。もちろん、今の世の中にそのまま当てはまるとは思いませんが、心の持ちようとか、何も戦闘

当時の人の精神的な強さなど、自分とは比較にならない世界を垣間見させてくれた一冊。

●工学部 エコデザイン学科 / 上野賢仁 准教授

機乗りだけではないと思いますが、当時の人の精神的な強さだとか、自分とは比較にならない世界を垣間見た気がしました。この一冊以来、前よりも少しだけ本を読むことが好きになりました。本が人そのものと思えるようになり、何か困ったときは、頼りになる本を探しに行くようになりました。

心に響く一冊

This is my favorite book Series@02

紹介書籍は図書館でもクローズアップ!!

最近忙しすぎて、本とはめっきり疎遠になっていますが、今でも本屋の近くに来れば、つい店内に入って立ち読みしてしまいます。ところが「これまでに読んだ本の中で特に印象に残っている本は？」と尋ねられ、すぐに思いつく本はさほど多くありません。しかし、そんな「数少ない一冊」が、この徳富蘆花の「自然と人生」なのです。

漢語を交えた格調高い情景描写。この作品は私の自然観を育んでくれたまさに「心に響く一冊」です。

●生物生命学部 応用微生物工学科 / 田中稔篤 講師

この随筆集は、徳富蘆花が神奈川県湘南地方に住んでいた頃に目にしていた、身近な自然の四季のうつろう様を感じるまま小品にまとめたもので、徳富蘆花は紹介文に「自然



徳富蘆花 著
自然と人生

写真の一冊は
岩波書店版

をあるじとし、その中の人間を客として書き著した小品を一冊とした」と書いています。どの作品も自然をテーマに、漢語まじりの格調高いものばかりで、中でも「湘南雑筆」の中の「初春の山」という作品は「後山にのぼる。春空、靄(あい)として四山かすみたなびき、争われぬ春となりぬ……」で始まり、のどかな春の情景描写のなかに、一斉に草木が芽ぐみ出す春の景色をよく表現していて、蘆花のみずみずしい感性が感じられる短編です。高校時代に買ったものはページの角が随分と痛み、今、手にしているのは二代目の「自然と人生」ですが、振り返りみると、この作品は私の自然観を育んでくれた一冊ではないかと思っています。これからも「心に響く一冊」でしょう。

SPECIAL INFORMATION

学友会から「井芹祭」のお知らせ

日本テレビ系スーパーチャンプル・エンディングテーマ『愛してる』やフジテレビ系アニメ図書館戦争・エンディングテーマ『changes』など連続ヒットを飛ばした人気の「Base Ball Bear」が出演予定!!

今年度の「井芹祭」では次のようなイベントを予定しています。期間は11月22日[土]から24日[月]の3日間。学内外を問わず、皆さん奮ってご参加ください。また、開催に先立つ11月1日[土]には、これまでのパレードとは趣向の異なる「イベント」を辛島公園で挙げる。これも参加は欠かせません!!

主なイベント予定

- 模擬店 / 現在26店が出店を予定。
- 井芹展 / 約20団体展示を予定。
- コンサート / 「らっぴびと」(23日・無料)、「Base Ball Bear」(24日・チケット販売制)が出演予定。OBのバンドも演奏あります。
- ステージイベント / 学生による「演奏会」や「ダンス」、来場者全員参加による「抽選会」、女子限定「ビンゴ大会」などを企画。来場者全員での「クイズ大会」では超豪華な賞品を提供する予定です。
- 野外企画 / 子供向けのイベントを開催。ミニSL(1/50サイズ)が20人ほどを乗せ、陸上競技場の外周を走ります。
- スポーツ系イベント / 獲得点数の合計で賞品を得る「ストラックアウト」や「サンダル飛ばし」を行います。
- 創作系イベント / 手形スタンプをたくさん押しつけて大きな花火の絵をつくる「華火スタンプ」や、人が入れるくらい大きなシャボン玉をつくる「ジャンボしゃぼん玉」の企画を用意しています。

同時開催 オープンキャンパス

高校生等を対象とする「オープンキャンパス」を11月22日[土]に同時開催します。この機会に崇城大学を体感してください。



<http://www.sojo-c.ac.jp/~iseri>

崇城大学「専門学校」からのお知らせ

SOJO COLLEGE INFORMATION

2009年度 情報学科 入試日程

試験区分	試験科目	願書受付締切日	試験日	合格発表日	手続期限
指定校推薦試験	小論文・面接	10月2日	10月4日	10月14日	10月28日
		10月30日	11月1日	11月11日	11月25日
特待生試験	学科・面接	10月2日	10月4日	10月14日	10月28日
		12月11日	12月13日	12月24日	1月9日
		2月19日	2月21日	3月3日	3月17日
		3月11日	3月13日	3月24日	4月3日
一般推薦試験	面接	10月2日	10月4日	10月14日	10月28日
		10月30日	11月1日	11月11日	11月25日
		12月11日	12月13日	12月24日	1月9日
		1月29日	1月31日	2月10日	2月24日
		2月19日	2月21日	3月3日	3月17日
		3月11日	3月13日	3月24日	4月3日
		3月23日	3月24日	3月27日	4月3日
		3月23日	3月24日	3月27日	4月3日
一般入学試験	面接	10月2日	10月4日	10月14日	10月28日
		10月30日	11月1日	11月11日	11月25日
		12月11日	12月13日	12月24日	1月9日
		1月29日	1月31日	2月10日	2月24日
		2月19日	2月21日	3月3日	3月17日
		3月11日	3月13日	3月24日	4月3日
		3月23日	3月24日	3月27日	4月3日
		3月23日	3月24日	3月27日	4月3日

※願書受付は9時から16時まで(土曜・日曜・祝日を除く)

10月18日[土]と11月29日[土] (両日10:30~12:00)にオープンキャンパスを開催!!

★参加者は一般推薦試験の面接を免除!!

平成20年度<秋期>ソフトウェア開発技術者試験に本校生1名が合格(県内の専門学校生2名合格)

参加申し込みは下記メールやホームページからでもOK!

崇城大学 専門学校 〒860-0806 熊本市花畑町10番25号 TEL.096-323-1122
<http://www.sojo-c.ac.jp/> info@sojo-c.ac.jp